

# 新スリムシティさっぽろ計画中間点検懇話会

(第1回)

## 会 議 録

日 時：令和4年（2022年）6月14日（火）

会 場：札幌市役所本庁舎14階1号会議室

札幌市環境局環境事業部

## 開 催 概 要

●日時 令和4年（2022年）6月14日（火） 10時～12時

●会場 札幌市役所本庁舎 14階1号会議室

●出席委員（10名の出席）

石井委員、佐藤委員、幡委員、玉生委員、柴田委員

渡辺委員、物井委員、草野委員、東委員、田中委員

●事務局 札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課

●配布資料

資料1 令和4年度 新スリムシティさっぽろ計画中間点検懇話会 委員名簿

資料2 懇話会について

資料3 「新スリムシティさっぽろ計画」の中間点検について

資料4 新スリムシティさっぽろ計画における目標の進捗状況について

●議事

1 懇話会について

2 「新スリムシティさっぽろ計画」の中間点検について

3 「新スリムシティさっぽろ計画」の概要について

4 新スリムシティさっぽろ計画における目標の進捗状況について

※質疑・意見交換は次頁以降参照

## 質疑・意見交換（概要）

### 議事 1

- ・資料 2 に基づき市から説明
- ・委員からの発言なし

### 議事 2

- ・資料 3 に基づき市から説明

<中間報告書の位置づけについて>

#### ○委員

中間点検報告書の位置づけを教えてください。これを元に計画を改定したり目標を直したりするのでしょうか。それにより我々の意見も変わってくると思います。

#### ●市

計画の改定や目標の変更までは行いませんが、委員のご意見を踏まえ、目標の達成に向けた具体的な施策や取組を検討してまいりたいと考えております。

#### ○委員

現計画には中間見直しの記載がないため、次期計画の策定時には中間見直しについての記載があってもいいかもしれません。

<計画の見直しをしない理由について>

#### ○委員

資料に「～計画を見直すほどの状況ではない」「(プラ新法)現時点では判断できない」という表現についてですが、例えばプラ新法への対応について検討はするけど計画に付け加えるほどの議論が進んでいなく未熟な状況であるという意味は分かります。しかし、あまり前向きに聞こえません。表現の問題かもしれませんが、もっと前向きな表現がよいと思います。

## ○委員

同感です。SDGsについて新スリム計画本書5ページにあります。計画策定時はようやくそういった話題が出てきたくらいだったと記憶していますが、今はもっと盛り込まれていいと思っています。環境への関心は以前よりも増えていると思うので、もう一段階ギアを上げるという意味でももっと前向きな表現がよいと思います。

## ●市

中間報告書で記載する際に留意いたします。

### <事業評価シートについて>

## ○委員

事業評価シートについては、計画の基本方針、SDGs、上位計画、他の計画、カーボンニュートラル、プラ新法などとの関係性がわかるようなものにしてもらえればこの場の議論も活発になると思います。外向きの色んな連携ができる内容になれば良いと思います。

## 議事3

・平成30年3月に策定した「新スリムシティさっぽろ計画」について、市から概要説明

### <ごみの減量の目的について>

## ○委員

政令市最少のごみ量を目指すという目標は理解できますが、その目的が理解しづらいと感じます。行政側だけの都合にもとらえられます。なぜごみを減らさないといけないのか、ごみを減らすとどんな良いことがあるのかなど、もっと市民が理解、協力できるような情報発信があればいいと思います。

## ●市

確かに効果という意味では前計画のときには清掃工場の廃止や埋立地の延命化などありましたが、本計画では、政令市の中で一番を目指すとしていることから、その理

由がわかりづらいところがあると思いますので、今後の情報発信の中で伝えていく必要があると感じています。

○委員

新スリム計画の上位計画に環境基本計画があり、その中で札幌市は環境の面でこうあるべき、みたいなことが書かれていて、新スリム計画はそのうちの廃棄物関係の柱になっているものです。確かに新スリム計画単体では分かりづらくもかもしれません。

○委員

民間だとそういう方針的なものは公表されていますが、札幌市でも公表はされていますか。

●市

本計画を市ホームページに掲載しており、基本方針として、環境負荷の低減、高齢化への対応としての安心してごみ出しができる体制構築、コストの最適化などを掲げておりますが、周知が効果的ではないとのご指摘はそのとおりと考えます。

<たい肥化に係る問題について>

○委員

厚別区のとある地域ではシカが問題になっており、家庭菜園を荒らすため、生ごみのたい肥がうまくできないところもあります。そういう害獣対策もうまくやってほしいです。

●市

具体的なお話は、次回以降の懇話会で各事業の話をしていく中で、改めてご意見をいただければと思います。

**議事 4**

・資料 4 に基づき市から説明

## <ごみ減量に係る分析と手法について>

### ○委員

政令市で1番を目指すうえで、他の政令市が何をやっているか、例えば2、3番目の市と同じことをやっても1番にはなれないとか、札幌市より下位でも参考になる取組とか、そういう情報があるとより良い議論になると思います。

なぜ減ったのかよくわからない生ごみなど、ごみ量はコロナや大雪の影響など色々な影響があると思います。この期間で減ったごみは事態が収束したら元に戻るみたいな限定的な減量になってしまう懸念があります。

限定的な効果にしないうえにも、ごみ袋有料化でごみが減ったという経緯も踏まえ、有料化や価格改定なども手法としてあると思います。効果としては大きいと思います。

議論の前段としての質問ですが、そういった価格改定や補助金、クーポンなどの大きな話は検討できるのでしょうか、また実行可能なのでしょうか。

### ●市

有料化や値上げも含めてご意見はいただきたいと考えておりますが、中間点検においてそれを実行することは難しいと考えております。有料化や値上げの実行には、有料化や価格改定に重点を置いた議論が別途必要となり、その上で計画改定も必要になってくると考えます。

### ○委員

物価高の影響で消費行動の変化もあると思います。ごみになる前の段階での、モノを買う量が減ることでごみ排出量も減る、そういう入口の変化もあると思いますので、減量効果を検証するにあたっては、社会の変化など多面的に見なくてはいけないと思います。

### ○委員

物価指数とか投入金額とかのデータと合わせて見る必要があると思います。

○委員

物価高の影響度合いは様々。生鮮品と加工品とでは要因も異なります。具体的な数字などはこれからと思いますが、ウクライナ情勢などは多方面に影響があるので慎重に考慮する必要があると思います。

ごみが減ったという結果が出たときに、施策が効果的だったのか、他の要因だったのかをわかるようにしなければならないということですね。

<ごみ減量が可能と思われること>

○委員

資料4のP3が現時点で札幌市が減らす余地があると考えているごみで、これを前提に進めていくということでしょうか。

●市

排出されるごみのうち、減らせる余地があり、かつ、重要と考えている部分です。その他にも、不要なモノは買わないなどの2Rも重要と思いますので、これに限らずご意見をいただきたいと考えております。

<近隣市町村との比較について>

○委員

近隣市と札幌市のごみ量グラフを見て思ったことですが、他市の事業者から札幌市がごみを受け入れなくなって困ったという話を聞いたことがあります。札幌市が処理しないで済むよう近隣市に押し付けているようにも見えますが、どうお考えでしょうか。

●市

表1のグラフは一般廃棄物を表しております。ご指摘の話は、産業廃棄物のことだと思われまして、札幌市の一般廃棄物が他市町村に流れることは、ないと考えています。ただ、産業廃棄物の部分は、ご指摘のような話があるかもしれません。